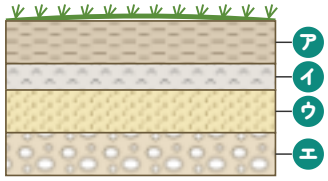
大地の つくり ① きほん

テスト 100点満点。地層の ことばと 見分け方を たしかめよう。
②（活用）と セットで 取り組むと、単元全体を ふり返れます。

ごうけい ／100 点

1 がけの 地層です。観察メモを 読んで 答えましょう。 1つ5点 きほん



(1) ア〜エの 層を 何と いいますか。（れき・砂・どろ・火山灰）

ア つぶが 目に 見えないほど 細かい。 → どろ
イ 角ばった つぶや、小さな 穴の ある 石が 見られる。 → 火山灰
ウ 目に 見える 細かい つぶ。さわると ざらざらする。 → 砂
エ 丸みの ある 小石が 多い。 → れき

(2) ア〜エで、いちばん 古い 層は どれ？ → エ

1つ5点。つぶの 大きさと 形で 見分ける。地層は 下から じゅんに 積もるので、下の 層ほど 古い。

2 つぶの 大きさと 名前の 表を 完成させよう。 1つ5点 きほん

つぶの 大きさ（目安）	2mm 以上	2mm〜0.06mm	0.06mm 以下
名前	れき	砂	どろ

1つ5点。つぶの 大きさで 名前が 決まる。

4 化石に ついて 答えましょう。 1つ5点 きほん

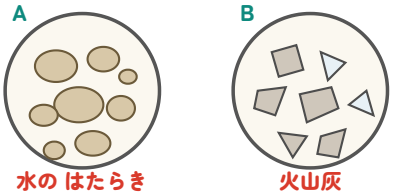
(1) 化石は、大昔の（ 生物の 体や あと ・ 石や 土 ）が 地層に のこった もの。

(2) 貝の 化石を ふくむ 層は（ 海の 底 ・陸の 上 ）で できた。

(3) 化石が 見られるのは、おもに（ 水 ・ 火山 ）の はたらきで できた 層。

1つ5点。貝の 化石が あれば、その 層は 海の 底で できたと わかる。

3 つぶの 形を 比べます。 1つ5点 きほん





(1) 水の はたらきで できた 層の つぶは？ → A

(2) 火山灰の つぶは？ → B

(3) 火山灰を 観察する 正しい 手じゅんは？ → ウ→ア→イ

(4) 火山灰の 層は（ 流れる水 ・ 火山の ふん火 ）で できた。

1つ5点。水で 運ばれた つぶは 角が とれて 丸い。(3) 水が すき通るまで あらって から、そうがん実体けんび鏡で 見る。

5 岩石の もとの つぶは？ 1つ5点 きほん



れき岩 → れき
砂岩 → 砂
でい岩 → どろ

1つ5点。れき・砂・どろが 固まって できた 岩石。

6 地層の 広がりと 調べ方 1つ5点 ★チャレンジ

(1) 道の 両側の がけに 同じ じゅんの 地層。→ 地層は（ おくまで 広がる ・ 表面だけ ）

(2) 地下の 土などを つつで ほり出した もの → ボーリング試料

1つ5点。ボーリング試料で 地下の 地層の ようすが わかる。

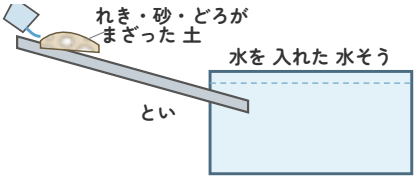
答えを 見たら、もう いちど やってみよう。 赤い 字が 答え。

大地の つくり ② 活用

テスト 100点満点。地層から 大地の でき方を 考えよう。
図や 資料を よく 見て、わけを 書く 問題も あります。

ごうけい ／100 点

1 といに 土を のせて 水を 流し、水そうに 積もる ようすを 調べました。 30点 きほん

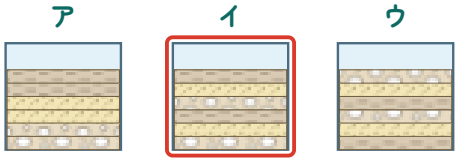


(1) 1回 流した あと、水そうの 底には 下から どの じゅんに 積もりますか。

下 れき → 砂 → どろ 上

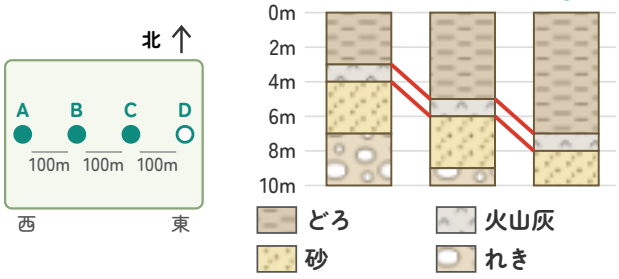
(2) そう なる わけは？（ 大きく 重い つぶほど 先に しずむ ・ 小さい つぶほど 先に しずむ ）

(3) つぶが しずんだ あと、もう 1回 同じように 流しました。水そうの 底の ようすは ア～ウの どれ？ イ



(1) 1つ5点・(2) 5点・(3) 10点。1回ごとに 下から れき→砂→どろの 層が でき、くり返すと 層が 重なって いく。

2 平らな 土地の A～Cで ボーリング調査を しました。A～Dは 東西に 100mずつ はなれて います。 30点 ★チャレンジ



(1) 火山灰の 層を 線で つなぎましょう。

(2) 火山灰の 層が いちばん 深いのは？ C

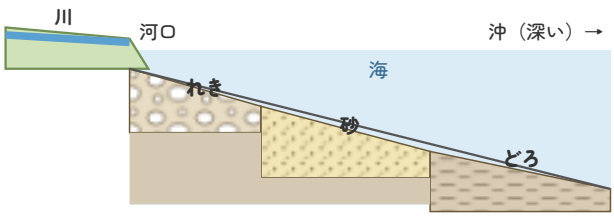
(3) 地層は（ 東 ・ 西 ）に 向かって 低く なって いる。

(4) Dでは、火山灰の 層は 地面から 何mくらいの 深さに あると 考えられますか。

（ 1～2m ・ 5～6m ・ 9～10m ）

(1)(2) 5点・(3)(4) 10点。火山灰の 層は A 3m→B 5m→C 7mと、100mごとに 2mずつ 深い。Dは さらに 2m 深い 9～10m。

3 川から 海に 運ばれた つぶは、図のように 積もります。ある 場所の 地層は、下から れき→砂→どろの じゅんでした。 20点 ★チャレンジ



(1) この 場所の 海の 深さは どう 変わった？

（ だんだん 深く なった ・ だんだん 浅く なった ）

(2) そう 考えた わけを 書きましょう。

つぶが れき→砂→どろと 小さく なり、深い 所の 積もり方に 変わったから。

(1) 5点・(2) 15点。（発展）細かい どろは 河口から 遠い 深い 所に 積もる。つぶが 小さく なる ほど、深く なったと 考えられる。

4 れきの 層の 小石が 丸い わけを 書きましょう。（ヒント：川原の 石） 20点 ★チャレンジ

流れる 水に 運ばれる 間に、ぶつかり合って 角が けずられたから。

20点。「水に 運ばれた」「角が けずられた（とれた）」の 2つが 書けて いれば 正かい。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。 赤い 字が 答え。

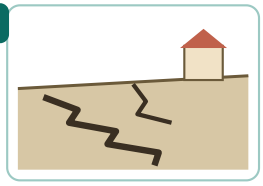
地震・火山

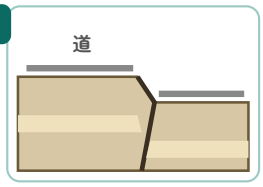
変わり続ける 大地 ① きほん

テスト 100点満点。地震や 火山で 大地が どう 変わるかを たしかめよう。
②（活用）と セットで 取り組むと、単元全体を ふり返れます。

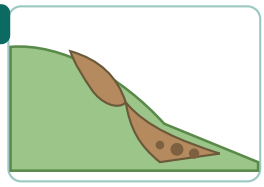
ごうけい ／100 点

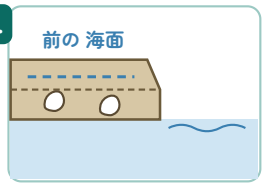
1 地震で 起こった 大地の 変化です。ア〜エに あう ことばを 書きましょう。（地われ・断層・山くずれ・土地の もり上がり） 1つ5点 きほん

ア 
地われ

イ 

断層

ウ 
山くずれ

エ 

土地の もり上がり

1つ5点。エは、海の 底だった 所（貝が ある）が 地上に 持ち上がった ようす。

2 火山の ふん火に ついて、正しい ものに ○、まちがって いる ものに ×を 書きましょう。 1つ5点 きほん


(1) ふん火で 流れ出た よう岩が 冷えて 固まり、土地の ようすが 変わる。 ○

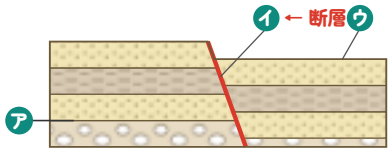

(2) 火山灰は、火山から はなれた 所には 積もらない。 ×


(3) 北海道の 昭和新山は、ふん火で 畑が もり上がって できた 山だ。 ○


(4) ふん火で 新しい 島が できる ことは ない。 ×

1つ5点。火山灰は 風で 遠くまで 運ばれる。ふん火で 島が できたり 広がったり する ことも ある。

3 地層の 断面図です。 1つ5点 きほん

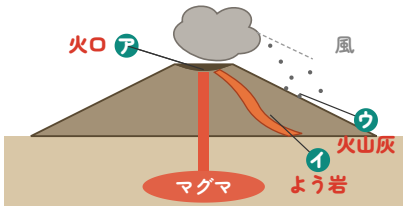


(1) 断層は ア〜ウの どの 線？ イ

(2) 断層は、地層が（ ずれた ・ 積もった ）もの。

(3) 断層が できる とき、多くは（ 地震 ・ 大雨 ）が 起こる。

4 ア〜ウの 名前は？（火口・よう岩・火山灰・断層） 1つ5点 きほん



ア 火口
イ よう岩
ウ 火山灰

1つ5点。よう岩は 火口から 流れ、火山灰は 風で 運ばれる。

5 「めぐみ」なら め、「災害」なら さを 書きましょう。 1つ3点 きほん

(1) 温泉に 入れる め
(2) 地熱発電で 電気を つくる め
(3) 火山灰で 農作物が かれる さ
(4) 美しい 景色に 観光客が 来る め
(5) よう岩で 家や 道路が うまる さ

1つ3点。災害と めぐみの 両方が ある。

6 災害への そなえ 1つ5点 ★チャレンジ

(1) 危険な 場所や ひなん場所を しめした 地図
ハザードマップ

(2) 強い ゆれの 前に、テレビなどで 知らせる しくみ
緊急地震速報

(3) ゆれたら まず（ 頭を 守る ・ 外へ 走る ）。

1つ5点。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。

赤い 字が 答え。

地震・火山

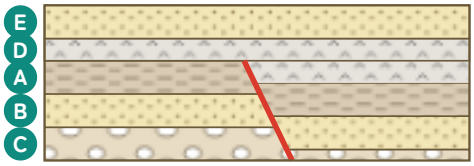
変わり続ける 大地 ② 活用

ステップ 2／6 テスト

テスト 100点満点。資料を 読み取って 考えよう。
グラフや 地図は 学習用の 例です。

ごうけい ／100 点

1 ある がけの 地層です。 25点 ★チャレンジ



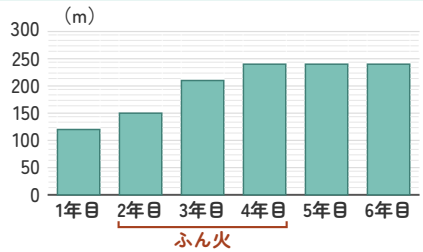
(1) ずれて いる 層を すべて 書こう。 A・B・C

(2) ア～ウを 起きた じゅんに ならべましょう。
ア A～Cの 層が 積もる
イ 地震で 断層が できる
ウ D・Eの 層が 積もる
ア→イ→ウ

(3) Dの 層から（ ふん火 ・ 大きな 地震 ）が あったと わかる。

(1)(2) 10点・(3) 5点。D・Eは ずれて いないので、断層が できた あとに 積もった。

2 ある 火山の 近くの 地点Pの 土地の 高さを、毎年 はかりました。 1つ5点 きほん



(1) 1年目から 6年目までに 何m 高く なった？ 120 m

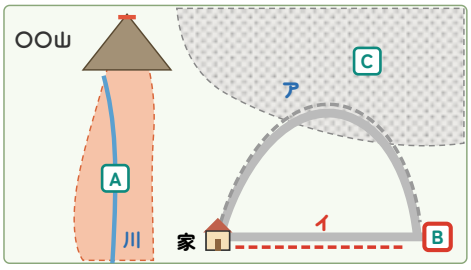
(2) いちばん 大きく 上がった 1年間は？ 2→3 年目

(3) ふん火が 止まると、高さは（ ほぼ 変わらない ・ もとに もどる ）。

(4) ふん火で（ 新しい 山 ・ 新しい 川 ）が できる ことが ある。

1つ5点。(1) 240−120＝120 (2) 2年目→3年目に 60m（ほかは 30m 以下）

3 〇〇山が ふん火した ときの ための ハザードマップ（例）です。 25点 ★チャレンジ



よう岩が 流れる 火山灰が 多い ひなん所

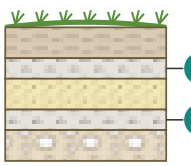
(1) いちばん 安全な ひなん所は A～Cの どれ？ B

(2) 家から Bへは、ア・イ どちらの 道が よい？ イ

(3) (2)の わけを 書きましょう。
アの 道は 火山灰が 多く 積もる おそれの ある 所を 通るから。

(1) 5点・(2)(3) 10点。Aは よう岩、Cは 火山灰の 区域の 中。危険な 区域を さけて ひなんする。

4 火山灰の 層が 2つ ある 地層 1つ5点 きほん



(1) 少なくとも（ 1回 ・ 2回 ）ふん火した。

(2) 古いのは X・Y どちら？ Y

(3) 火山灰の 層は、はなれた 地層を つなぐ 手がかりに（ なる ・ ならない ）。

1つ5点。下の 層ほど 古いので Yの 方が 古い。

5 火山の 近くの くらしを 考えよう。 1つ5点 ★チャレンジ

(1) めぐみ 例）温泉が 楽しめる。

(2) 災害 例）火山灰で 作物が かれる。

(3) そなえ 例）ひなん場所と 道を 調べる。

1つ5点。答えは 例。内容が 合って いれば 正かい。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。 赤い 字が 答え。

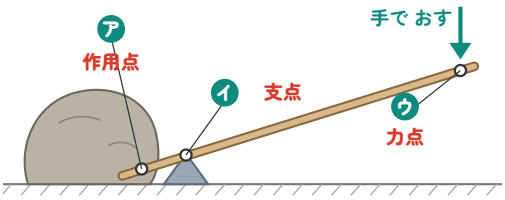
てこの はたらき ① きほん

ステップ 3／6 テスト

テスト 100点満点。ことばと きまりを たしかめよう。
②（活用）と セットで 取り組むと、単元全体を ふり返れます。

ごうけい ／100 点

1 棒で 重い 石を 持ち上げます。 1つ5点 きほん



(1) ア〜ウの 点の 名前は？

ア 作用点
イ 支点
ウ 力点

(2) 小さな 力で 持ち上げるには？
正しい ほうに ○を つけましょう。

① 手で おす 位置を 台から
（ 遠ざける ・ 近づける ）

② 台の 位置を 石に
（ 近づける ・ 遠ざける ）

1つ5点。力点が 支点から 遠いほど、作用点が 支点に 近いほど、小さな 力で 持ち上げられる。

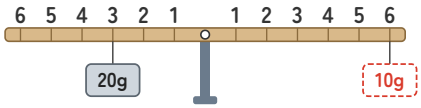
2 てこの きまり：〔 〕に あう ことばを、下の □から えらんで 書きましょう。 1つ5点 きほん

・てこを かたむける はたらきは、おもりの〔ア 重さ 〕×支点からの〔イ きょり 〕で 表せる。
・左右の てこを かたむける はたらきが〔ウ 等しい 〕とき、てこは 水平に つり合う。
・上皿てんびんが つり合った とき、左右の 皿の ものの〔エ 重さ 〕は 等しい。
・てこを 利用した 道具には、支点・力点・作用点の〔オ ならび方 〕が ちがう ものが ある。

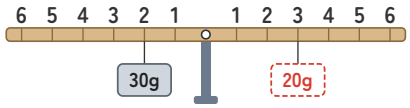
重さ ・ きょり ・ 等しい ・ ちがう ・ 高さ ・ ならび方

※ 同じ ことばを 2回 使っても よい。

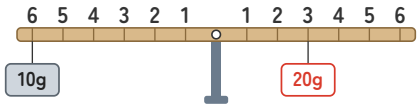
3 実験用てこが 水平に つり合うように、□に あてはまる 数を 書きましょう。 1つ5点 きほん

(1) 

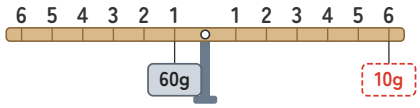
右の 6に 10 g

(2) 

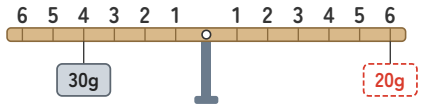
右の 3に 20 g

(3) 

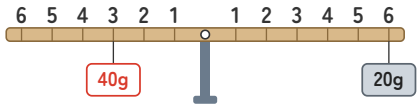
20gを 右の 3 に

(4) 

右の 6に 10 g

(5) 

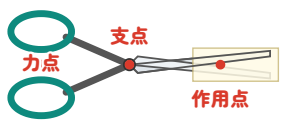
右の 6に 20 g

(6) 

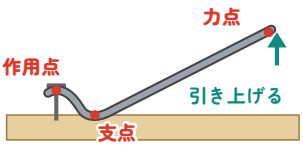
荷物は 40 g

1つ5点。重さ×きょりを 先に 計算。(1)〜(4) 左は 60　(5) 30×4＝120、120÷6＝20　(6) 20×6＝120、120÷3＝40

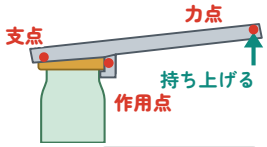
4 3つの 点の うち、まん中に ある 点は どれですか。（支点・力点・作用点） 1つ5点 きほん

(1) はさみ


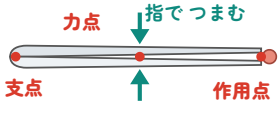
まん中 支点

(2) くぎぬき


まん中 支点

(3) せんぬき


まん中 作用点

(4) ピンセット


まん中 力点

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。　赤い 字が 答え。

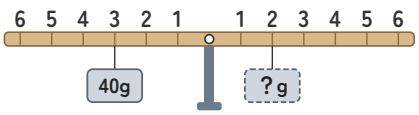
てこの はたらき ② 活用

ステップ 3／6 テスト

テスト 100点満点。きまりを 使って 考えよう。
計算の 答えだけで なく、わけを 書く 問題も あります。

ごうけい ／100 点

1 左の 3に 40gを つるし、右の どこに 何gで つり合うかを 調べました。 20点 きほん



右の 目もり	1	2	3	4	6
つり合う 重さ (g)	120	60	40	30	20

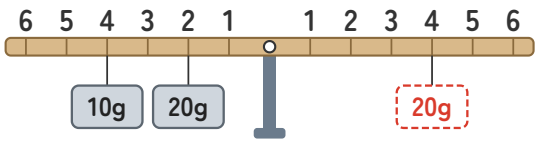
(1) 表の □に あてはまる 数を 書きましょう。

(2) 目もりの 数が 2倍、3倍に なると、つり合う 重さは （ 2倍、3倍 ・ 2分の1、3分の1 ・ 変わらない ） に なる。

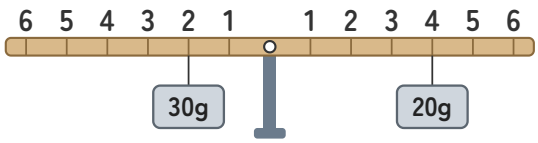
(1) 1つ5点・(2) 5点。左は 40×3＝120。右も 目もり×重さ＝120。120÷2＝60、120÷4＝30、120÷6＝20

2 A・Bの てこを、手で ささえて 水平に して います。 45点 ★チャレンジ

A



B



(1) 右の 4に 何gを つるすと つり合う？ 20 g

(2) 右の 2に つるすなら 何g？ 40 g

(3) 手を はなすと どう なる？
（ 左が 下がる ・ つり合う ・ 右が 下がる ）

(4) 20gを どこに 動かすと つり合う？ 3

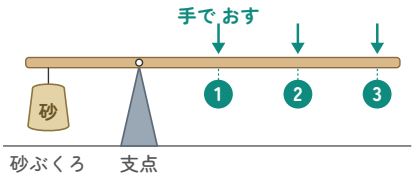
(5) (4)の 答えに なる わけを、「重さ」「きょり」を 使って 書きましょう。

左は 重さ×きょりが 30×2＝60。右も 20×3＝60に なると 左右が 等しく なり つり合う。

(1)(2) 10点・(3)(4) 5点・(5) 15点。A 左は 20×2＋10×4＝80、80÷4＝20、80÷2＝40。B 左60・右80で 右が 下がる、60÷20＝3

3 「力点の 位置を 変えると、手ごたえは どう 変わるか」を 調べます。 1つ5点 きほん

ア 支点から 力点までの きょり　イ 支点から 作用点までの きょり　ウ 砂ぶくろの 重さ



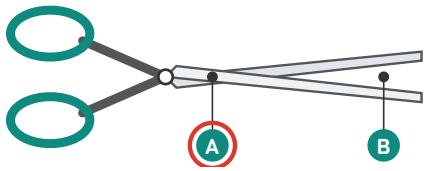
(1) 変える 条件は どれですか。 ア

(2) 変えない 条件を すべて 書きましょう。 イ・ウ

(3) ①→②→③と おすと、手ごたえは （ 大きく ・ 小さく ） なった。

1つ5点。調べたい 条件だけを 変え、ほかは 同じに する。力点が 支点から 遠いほど 手ごたえは 小さい。

4 はさみで あつい 紙を 切ります。 20点 ★チャレンジ



(1) 小さな 力で 切れるのは、A・Bの どちらで 切るとき？ A

(2) その わけを「支点」「作用点」を 使って 書きましょう。

支点から 作用点までの きょりが 短く なるから。

(1) 5点・(2) 15点。Aは 支点（じく）に 近い。作用点が 支点に 近いほど 小さな 力で 切れる。

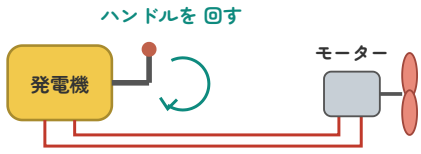
答えを 見たら、もう いちど やってみよう。 赤い 字が 答え。

電気と 私たちの くらし ① きほん

テスト 100点満点。電気を つくる・ためる・使う しくみを たしかめよう。
②（活用）と セットで 取り組むと、単元全体を ふり返れます。

ごうけい ／100 点

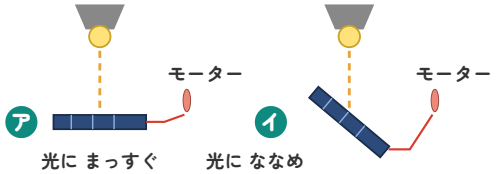
1 手回し発電機に モーターを つないで、ハンドルを 回します。 1つ5点 きほん



(1) 回すと 電気が（ つくられる ・ なくなる ）。
(2) 回す 向きを 逆に → モーターは（ 逆に 回る ・ 止まる ）。
(3) 速く 回す → モーターは（ 速く ・ おそく ）回る。
(4) 豆電球なら、速く 回すと（ 明るく ・ 暗く ）なる。

回す 向きで 電流の 向き、回す 速さで 電流の 大きさが 変わる。

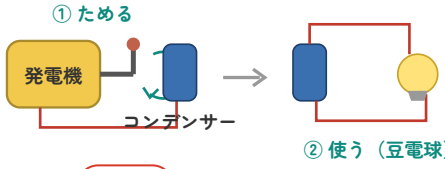
2 光電池に モーターを つなぐ 1つ5点 きほん



(1) 光を 強く →（ 速く ・ おそく ）回る。
(2) 光を さえぎる →（ 止まる ・ 速く 回る ）。
(3) 速く 回るのは ア・イ どちら？ ア

1つ5点。光が 強く、まっすぐ 当たるほど 速く 回る。

3 コンデンサーを 使います。 1つ5点 きほん

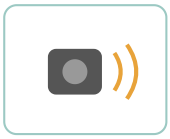


(1) 電気を（ ためる ・ つくる ）道具。
(2) ②で 豆電球は（ つく ・ つかない ）。
(3) 使いきると（ 消える ・ ずっと つく ）。

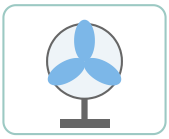
1つ5点。ためた 電気は 使うと なくなる。

4 電気を 何に 変えて 使って いますか。（光・音・熱・運動） 1つ5点 きほん


電灯 光

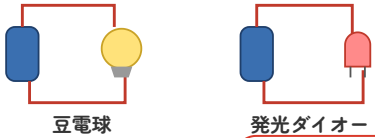

ブザー 音


電気ストーブ 熱


せん風機 運動

1つ5点。電気は 光・音・熱・運動に 変えて 使われる。

5 同じ 量の 電気で 比べる 1つ5点 きほん



(1) 長く 光るのは（ 豆電球 ・ 発光ダイオード ）。
(2) 発光ダイオードは 使う 電気が（ 多い ・ 少ない ）。
(3) 豆電球は あたたかい → 電気が（ 熱 ・ 音 ）にも 変わる。

1つ5点。発光ダイオードは 少ない 電気で 長く 光る。

6 ことばで まとめよう。 1つ5点 ★チャレンジ

(1) 電気を つくる こと 発電
(2) 電気を ためる こと 蓄電
(3) むだなく 使う 工夫は？（ いない とき 消す ・ つけた まま ）

1つ5点。人が いない ときに 消せば、むだが へる。

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。 赤い 字が 答え。

電気と 私たちの くらし ② 活用

テスト 100点満点。実験の 結果と くらしを つなげて 考えよう。
表や グラフの 数は 学習用の 例です。

ごうけい ／100 点

1 手回し発電機を 50回 回して ためた 電気で、光る 時間を 比べた（例）。 25点 きほん

つないだ もの	光った 時間
豆電球	30秒
発光ダイオード	6分

(1) 6分は 何秒？ 360 秒

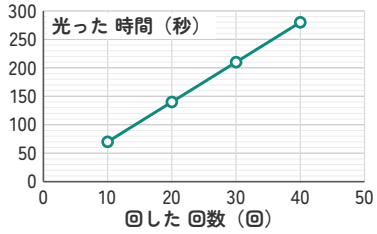
(2) 発光ダイオードは 豆電球の 何倍 長く 光った？ 12 倍

(3) 使う 電気が 少ないのは（ 豆電球 ・ 発光ダイオード ）。

(4) 同じに した 条件は（ 回す 回数と 速さ ・ つなぐ もの ）。

(1)(3)(4) 5点・(2) 10点。6×60＝360秒、360÷30＝12。調べる こと 以外の 条件は 同じに する。

2 回す 回数を 変えて、発光ダイオードが 光る 時間を 調べました（例）。 20点 ★チャレンジ



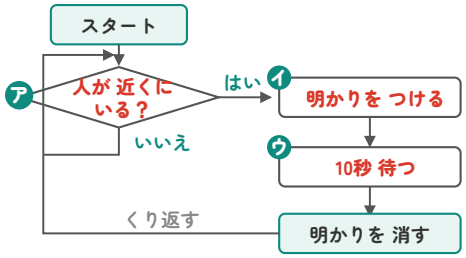
(1) 30回 回した ときは 何秒？ 210 秒

(2) 回数が 2倍 → 時間は（ 2倍 ・ 半分 ・ 同じ ）。

(3) 60回 回すと、何秒 光ると 考えられる？ 420 秒

(1)(2) 5点・(3) 10点。1回あたり 7秒なので 7×60＝420。

3 人が 近づくと つき、しばらく して 消える 明かりの プログラム 25点 ★チャレンジ



(1) ア〜ウに あう ものを 下から えらんで 書きましょう。

① 明かりを つける ② 10秒 待つ

③ 人が 近くに いる？

ア ③ イ ① ウ ②

(2) よい ところは？（ 電気の むだが へる ・ ずっと 明るい ）

(1) 1つ5点・(2) 10点。センサーで 人を 感じた ときだけ 明かりを つけるので、電気を むだなく 使える。

4 家の 照明を 発光ダイオードに かえると よい わけを 書きましょう。 15点 ★チャレンジ

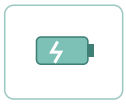
同じように 明るくても 使う 電気が 少なく、電気の 節約に なるから。

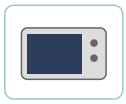
「使う 電気が 少ない（節約できる）」 ことが 書けて いれば 正かい。

5 電気を「つくる」「ためる」「使う」の どれに あたりますか。 1つ3点 きほん


太陽光パネル
つくる


風力発電の 風車
つくる


じゅう電池
ためる


電子レンジ
使う


せん風機
使う

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。 赤い 字が 答え。

総合テスト ① きほん

テスト 1問 10点／100点満点。4つの 単元の ことばと きまり。
答えの ページで、まちがえた 単元の ステップを 見直そう。

ごうけい ／100 点

1 1・地層 つぶの 大きい じゅんに ならべましょう。（砂・どろ・れき） 10点

れき → 砂 → どろ

全部 できて 10点。 → まちがえたら ステップ1へ

2 1・地層 火山灰の つぶの 形は？ 10点

（ 丸みが ある ・ 角ばって いる ）

水で 運ばれた つぶは 丸い。 → まちがえたら ステップ1へ

3 2・地震・火山 地層の ずれを 何と いいますか。 10点

断層

地震の ときに できる ことが 多い。 → まちがえたら ステップ2へ

4 2・地震・火山 火山の「めぐみ」は どれ？ 10点

（ 温泉 ・ 火山灰で 作物が かれる ）

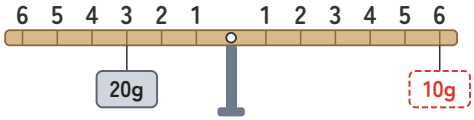
温泉・地熱発電・景色などが めぐみ。 → まちがえたら ステップ2へ

5 3・てこ てこで、棒を ささえる 点を 何と いう？ 10点

支点

力を 加える 点＝力点、力が はたらく 点＝作用点。 → まちがえたら ステップ3へ

6 3・てこ 左の 3に 20g。右の 6に 何gで つり合う？ 10点



10 g

20×3＝60、60÷6＝10。 → まちがえたら ステップ3へ

7 3・てこ 小さな 力で 持ち上げるには、力点を 支点から？ 10点

（ 遠ざける ・ 近づける ）

力点が 遠いほど 手ごたえは 小さい。 → まちがえたら ステップ3へ

8 4・電気 手回し発電機を 逆に 回すと、モーターは？ 10点

（ 逆に 回る ・ 止まる ）

電流の 向きが 逆に なる。 → まちがえたら ステップ4へ

9 4・電気 電気を ためる 道具は？ 10点

コンデンサー

ためた 電気で 明かりを つけられる。 → まちがえたら ステップ4へ

10 4・電気 同じ 量の 電気で 長く 光るのは？ 10点

（ 豆電球 ・ 発光ダイオード ）

発光ダイオードは 使う 電気が 少ない。
→ まちがえたら ステップ4へ

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。

赤い 字が 答え。

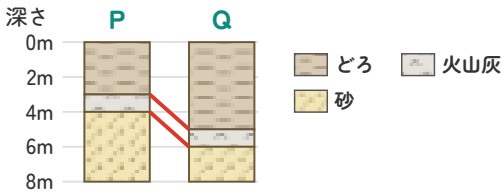
総合テスト ② 活用

ステップ 6／6 テスト

テスト 1問 10点／100点満点。図や 表から 考えよう。
答えの ページで、まちがえた 単元の ステップを 見直そう。

ごうけい ／100 点

1 1・地層 平らな 土地の P・Qの 柱状図。 10点
火山灰の 層が 深いのは？



Q

火山灰の 層は Pで 3m、Qで 5m。 → まちがえたら ステップ1へ

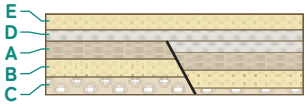
2 1・地層 土を 水そうに 流すと、底には 下から どう 積もる？ 10点

（ れき→砂→どろ ・ どろ→砂→れき ）

大きく 重い つぶほど 先に しずむ。 → まちがえたら ステップ1へ

3 2・地震・火山 D・Eは ずれて いない。起きた じゅんは？ 10点

ア A～Cが 積もる　イ 断層が できる
ウ D・Eが 積もる



ア→イ→ウ

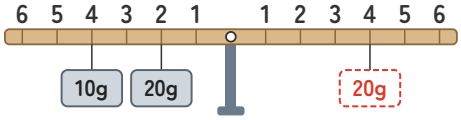
断層の 上に ずれて いない 層が 積もった。
→ まちがえたら ステップ2へ

4 1・地層 れきの 層の 小石が 丸い わけを 書きましょう。 10点

流れる 水に 運ばれる 間に 角が けずられたから。

「水に 運ばれ、角が とれた」で 正かい。
→ まちがえたら ステップ1へ

5 3・てこ 左の 2に 20g、4に 10g。右の 4に 何gで つり合う？ 10点



20 g

20×2＋10×4＝80、80÷4＝20。 → まちがえたら ステップ3へ

6 3・てこ 右の 6に 20gで、左の 3の 荷物と つり合った。荷物は 何g？ 10点

式 20×6÷3＝40 40 g

式5点・答え5点。20×6＝120、120÷3＝40。
→ まちがえたら ステップ3へ

7 3・てこ はさみで あつい 紙を 切る とき、楽に 切れるのは？ 10点

（ じくに 近い 所 ・ 刃の 先 ）

作用点が 支点に 近いほど 小さな 力で すむ。
→ まちがえたら ステップ3へ

8 4・電気 豆電球は 30秒、発光ダイオードは 6分 光った。何倍？ 10点

式 360÷30＝12 12 倍

式5点・答え5点。6分＝360秒。 → まちがえたら ステップ4へ

9 4・電気 10回で 70秒 光った。60回 回すと 何秒 光る？（回数と 時間は 比例） 10点

420 秒

1回あたり 7秒。7×60＝420。 → まちがえたら ステップ4へ

10 4・電気 人感センサーで 明かりを つける よい ところを 書きましょう。 10点

人が いない ときは 消えるので、電気の むだが へる。

「むだが へる（節約）」で 正かい。 → まちがえたら ステップ4へ

答えを 見たら、もう いちど やってみよう。 赤い 字が 答え。